



塩竈市婦人会
会長
塩竈市交通安全
母の会会長
佐々木和恵さん

強いきずなのもとに
行動する婦人会
「塩竈市婦人会」は、地域の
社会福祉活動で赤い羽根共同
募金や歳末たすけあい運動、
被災者やお年寄りのために開
催しているチャリティバザー
に長年力を注いでいます。そ
のほか、塩竈みなと祭では、
ハットセ踊りや御座船音頭を
踊り、伝統ある踊りの継承に
も努めています。

また、「愛の声がけ運動」を
立ち上げるなど、青少年の健
全育成にも力を入れています。
未来の子どもたちが塩竈を愛
し続けてもらえるように私た
ちの合言葉「明るく、楽しく、
健やかに」をモットーに活動し
ていきたいです。」と佐々木会
長は笑顔で話されました。



心に寄り添う奉仕活動を

創立70周年を迎える塩竈市婦人会

昭和23年に創立された「塩竈市婦人会」が今年で創立70周年を迎え、昭和53年に婦人会を母体に結成された「塩竈市交通安全母の会」は今年で設立40周年を迎えました。
現在、およそ180人の会員で活動している婦人会の佐々木会長は「東日本大震災で被災された方々への支援物資の配布や炊き出しを率先して行うなど、奉仕の心で今でも活動を継続しています。これからも行政や市民とともに住みよい地域を作っていきます」と話されました。



▲市内保育所で紙芝居による交通安全教室を行っています



▲塩竈みなと祭でうちわを配り、飲酒運転根絶を訴えています

安心して暮らせる地域に

「塩竈市交通安全母の会」は、高齢者や新入学児童をはじめとした市民への交通安全啓発活動を行っています。
「交通安全は茶の間から」を合言葉に、交通事故のない明るい豊かな地域を目指しています。

生涯学習課学習支援係 ☎362-2556

塩竈市婦人会70周年・塩竈市交通安全母の会40周年記念行事

とき 11月10日(金) 12:30～ ところ 遊ホール(吉番館5階)
内容 鶴田美奈子ピアノコンサート、式典、歌・踊り・コーラス、
俳人・渡辺誠一郎さんによる記念講演(演題「文学にみる塩竈」)、
会員による作品展示もあります。
対象 どなたでも参加できます

問 佐々木 ☎366-5780

シリーズ 日本遺産 「政宗が育んだ“伊達”な文化」と塩竈



観光旅行のはじまり ～塩竈松島観光～

特別名勝である「松島」は、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の構成文化財のひとつに含まれています。その松島は、湾の外側を寒風沢島、野々島、桂島(いづれも塩竈市)、宮戸島(東松島市)、馬放島(七ヶ浜町)などの島が取り囲んでいます。

島々は松を頂き、凝灰岩質の島の側面は波にえぐられて白く、空と海の青によく映えます。これが松島の景観の特徴で、遊覧船から間近に見ることができます。古代においては歌枕であり絶景として知られたこの地域は、中世には霊場・松島という顔もつようになりました。戦国時代末期には政治的な庇護を失い荒廃した地を、伊達政宗が統治し、五大堂、瑞巖寺、鹽竈神社と古代以来の由緒ある社寺を造営しました。

江戸時代、庶民が安全に名所を歩き見聞を深め、旅を楽しむ観光旅行が始まりました。塩竈から松島の陸上交通は不便でしたが、明治に東北線、昭和初期に宮城電気鉄道(現仙石線)、戦後に海沿いの観光道路が開通し移動が容易になりました。また観光資源の整備、宣伝活動も活発になりました。丸文松島汽船(株)佐藤さんは「芭蕉が扶桑第一の好風と評した松島は、四季折々、朝陽・夕陽で表情が変わります。また、芭蕉が当時通った在城島の近くを航行するのは遊覧船のみ。小さいお子さんでも楽しめます。」と話しています。画趣を持つ塩竈・松島の景物を写真に収めてみませんか。



丸文松島汽船(株)
代表取締役社長
佐藤昭夫さん

【参考文献「観光旅行一大正～昭和初期のツーリズム～」】

問 生涯学習課学習支援係 ☎362-2556

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。 防災行政無線確認電話 ☎364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1MHz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

「広報しおがま」は、22,700部製作し、1部当たりの経費(印刷・発送)は69円です。

【塩竈市の人口】 H29.9.30現在

住民基本台帳調べ (前月比)
人口 54,844人 (-11人)
男 26,199人 (-1人)
女 28,645人 (-10人)
世帯数 23,302戸 (+18戸)

